

秋の陽だより

学芸発表会見どころ
特集号

第 84 号



平成28年11月21日

練馬区立光が丘秋の陽小学校

<http://www.akinohi-nerima-ky.ed.jp/>

練馬区光が丘2-1-1

TEL 3976-6331

FAX 5383-3595

大きな拍手が子供を育てます！

校長 関川 健

いよいよ学芸発表会が近づいてきました。今年度から、奇数学年の音楽発表と、偶数学年の演劇発表に分けて行います。どの学年の子供たちも、一生懸命に練習をしています。表現することを大いに楽しみ、また、みんなで一つのを創り上げる喜びを味わってほしいと願っています。

保護者の皆様には、重ねてのお願いになりますが、是非ともできる限り盛大な拍手を子供たちに送っていただきたいのです。そのためには、皆様の全ての感覚で子供たちの表現を感じ取ることが大切です。撮影機器のファインダーやモニター画面を通してではなく、直接的に、ということです。記録に残したいと思う気持ちはもちろんよく分かります。でも、生で鑑賞すると、その場その時にしか伝わらないお子さんの表情や心臓の鼓動までもが伝わってくるかもしれません。必ずや大きな感動が得られます。そして、心からの拍手ができると思います。そんな温かい拍手を浴びることで、子供たち一人一人は自己肯定感を高め、自分に自信がもてるようになり、生きる力が育ちます。

表現する子供たちと、鑑賞される皆様が一体となって創り上げる“秋の陽劇場”となりますよう、ご協力をお願いいたします。

《 1 年 》

国語で学習した「くじらぐも」を歌で表現します。「まねっこまねまね」「天までとどけ」「空のぼうけん」「いつまでもともだち」と、4曲の歌でお話が伝わるように、楽しく元気に歌います。合奏は、「喜奏曲 メリーさんの羊」です。少し難しい演奏に挑戦しました。

指揮者の合図に注目するよう工夫しました。一年生が心を合わせて演奏できるよう指揮棒の先に、お手製の鯨と羊がついています。一年生のかわいい演奏をお楽しみに。



《 2 年 》

2年生は、「アイウエオリババ」という劇をします。『アイウエオリババ』『かしらとどろぼう』『カシムとその奥さん』『まちの人』そして『語り手』に分かれて、自分の役を一生懸命に練習しています。

その役になりきり、気持ちを込めて、堂々と演じる2年生の姿をぜひご覧ください。

また、最後にみんなで歌う「オリバーのマーチ」も、2年生らしく、元気いっぱいです。観るとパワーがもらえる2年生の発表を、楽しみにしててください。



《 3 年 》

まずは、歌で世界めぐりの旅にご招待します。「十五夜さんの餅つき」「陽気なかじ屋」「雪のおどり」を手遊びを交えて披露します。次に、斉唱「チャレンジ」。元気いっぱいの3年生のパワーが伝わるように日々「チャレンジ」しています。

最後に、「いつでも誰かが」を合奏します。3年生になってから始めたリコーダー。頑張って練習を重ねてきました。他の楽器と息の合った演奏をご期待ください。



《 4 年 》

「むかしむかしの中国のおはなしです。岩山の石のたまごがわかれて生まれた孫悟空。方々に修行に出かけ、たくさんの不思議な術を…」

4年生、小学校最後の演劇発表は皆さんご存じの「孫悟空」です。劇はもちろん、歌あり、踊りありの元気いっぱいの4年生らしい発表をご期待ください。



〈小道具を演技する役のチームに分かれて準備をしています〉

《 5 年 》

1曲目は、斉唱『ハロー シャイニング ブルー』です。高く美しい声で、輝く空と海の様子をさわやかに歌います。2曲目の合唱『wish~夢を信じて~』では、高学年らしく、上手にハモります！どうぞご期待ください。

3曲目は、『都道府県のフーガ』です。クラスごとの発表です。それぞれのクラスカラーも発揮されます。さあ、どんな都道府県名が聞こえてくるのでしょうか…？

4曲目は、合奏『ルパン三世』です。エイトビートのリズムにのって5年生全員で心をひとつに合わせて演奏します。楽しみにしててください。



《 6 年 》

6年生は、ミヒャエル・エンデの名作、『モモ』を原作とした、『モモと時間泥棒』の劇を演じます。

「小学校生活最後の学芸発表会。自分たちの思いを見ている人に伝えよう」という目標をもち、自分たちで台詞の言い方を工夫したり、振り付けを考えたり、楽しく練習をしています。

一人一人が輝き、全員で創り上げる舞台を楽しみにしててください。

